

先日はアンケートのご協力ありがとうございました。集計結果をご報告させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

	チェック項目	チェック項目				ご意見	事業所より
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答		
環境・体制整備 環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	3	0	0		・室内に関しては利用者が使用しやすいように変更しながら整備していきます。 ・地域の体育館など公共の施設を使用し活動スペースを確保していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	1	0		・法人研修や事業所内研修、外部研修を通して知識を高めていきます。
	③ 事務所の設備等は、スロープや手すりの設備などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	6	0	0		・建物の構造上バリアフリーにできないところに関しては利用者が安全にできるよう職員が介助します。 ・スロープや手すりは利用者の状況に合わせて配置していきます。
適切な支援の提供 適切な支援	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13	0	0	0		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0		・活動プログラムがマンネリ化しないよう新たなプログラムを提案していきます。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	1		・事業所単位では地域の学童クラブ等の交流はできていません。児童館等を利用し交流する機会を作っています。
保護者への説明等 保護者への説明等	⑦ 支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	1	0	今年に入ってから相談したいことがしなくなった。	・職員の退職等があり、保護者との連携がまだうまくいっていない点もあります。細やかに連携できるように工夫していきます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	0	0		・定期的な面談だけでなく、利用者の状況に変化があった際など面談できる機会を増やしていきます。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4	2	0		・保護者勉強会を企画しましたが、参加者が少なく連携には至っていません。保護者が参加したくなる内容や時期を検討して次年度も開催いたします。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	0		・ご意見をいただいた際には迅速に対応していきます。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	0	0		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	12	1	0	0		
非常時等の対応 非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	0		・法人、事業所では各マニュアルを作成し、職員間で共有しています。避難訓練も年2回行いましたが火災発生時を想定だけでしたので、来年度は地震や大雨等を想定した訓練も取り入れていきます。 ・各マニュアルの内容を保護者の方が周知できるような工夫をしていきます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	1	0		
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0		
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	10	3	0	0		・支援内容や活動プログラムを工夫し、新しいことにもチャレンジしていきます。

平成30年度 児童デイサービスゆうゆう

放課後等デイサービス評価表(事業者向け)結果 (回収 職員6名)

【平成31年3月実施】

先日はアンケートのご協力ありがとうございました。集計結果をご報告させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	工夫している点	改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3			・利用者の活動内容によりスペースの使い分けを行っている。	・遊具や棚等の置き場所を工夫しながら、活動がしやすい空間作りを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1	3			・加配職員もおり、人員的には配置基準に達しているが、利用者の状況により職員の動きを工夫していく必要がある。
	3	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	3			・玄関の段差は改善が難しいが、室内については利用者の状況により、手すり等を取り付けていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか		5	1			・職員で業務分担しているが、職員間で進行具合に差があるため、細やかに確認しあいながら進めていく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4	1			・アンケート内容について定期的に確認をする必要がある。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の解放やホームページ等で公開しているか	3	1	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2			
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6					・外部研修について事業所内での振り返りや伝達が必要である。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3				・課題や目標について保護者との連携を密にしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	1			・アセスメントシートの見直しが必要である。どのような内容を重視するかについて職員間で情報を出し合い進めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1			・日々の支援についての情報共有が必要になる。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	3				・放課後のプログラムについて検討し、内容を広げていく必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		3	3			・長期休暇などは全体での動きが中心になっており、個々の設定が希薄になっているため改善が必要。

な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3	2			・個々の目標を集団の中でどのように支援していくの共有を進める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3	1			・ミーティングの時間を作っているが、振り返りの場面重視になっているため、振り返りから支援について広げていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3				・全ての利用者が送迎を必要としており、支援終了後は職員が全て揃う時間が取りにくい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2	1			・事業所内での研修にて検証・改善に向けてのケース会議を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3				・現在は6ヶ月単位で行っているが、状況に応じて行う必要性も感じている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	1	5				・ガイドラインを職員全体で共有できる機会を増やしていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1				・うまくいっていない点もある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	3			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	2			・資料としてはいただくが関係者会議まではいっていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2			・連携は取れていない場合が多い。卒業後に利用者が混乱しないように連携していく必要性を感じる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6			・今後は機会をつかって生きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	4				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	2			・保護者勉強会等を通して伝えて生きたい。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2			・保護者勉強会として開催しているが参加数も少ない。興味のある内容や日程を調整しながら続けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				・通信を毎月発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2			・利用者への情報提示については利用者の状況に応じた方法を検討していく必要がある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	1		・法人全体での行事はあるが事業所単独では出来ていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	1		・保護者への周知の仕方について工夫をしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	1		・火災だけでなく、震災や大雨の際の訓練も取り入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				・法人全体で年1回の研修を行っている、それを基に事業所でも継続して行っていく。また、ケース会議の機会を増やし、支援が虐待に繋がらないか検討していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	5			・拘束につながりかねない事項については個別支援計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1			・打ち合わせの際に前日のヒヤリハットについての検討を行っている。